

(様式1)

令和6年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立（ 浜北北部中 ）学校運営協議会長

<本年度の目標>

- (1) 学校支援活動について地域・保護者などへ呼び掛けを行い、少しでも学校と地域の繋がりに関わるができるように、委員として、主体的・積極的に努めたい。
- (2) 学校関係者評価において、必要とされる項目について前向きに取り組み、充実した協議会になるよう熟議したい。
- (3) 可能な限り行事など学校へ足を運ぶ回数を増やすことができるとうい。
- (4) 子供たちの支援活動、連携を引き続き課題とする。
- (5) 子供たちの支援活動のため、学校・地域の連携に努める。協議会に出席してもらえ先生方との意見交換も大切にしてい。委員としてできることを探してい。

<評価項目1> 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

- ・基本方針について、授業参観や学校側からの説明を聞き、個人よりも仲間を意識する活動が多いという印象。熱い思いや実践力を伺い、本会が担っていくことについて考えることができた。
- ・「ASK」活動は、生徒にも理解しやすく、常に頭において行動することができるためとても良い取り組みだと思う。継続を期待したい。
- ・いじめ防止の基本方針について、生徒指導主事から概要説明と具体例をあげた解説もあり現状把握ができた。

<評価項目2> 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

- ・学校支援活動について、実績報告を聞き少しずつではあるが確実に支援が広がっていると感じる。地域の方にもっと入っていただけると良いと思うが、人材確保は難しいのだろう。また、授業にボランティアが入った際、個々にどのような支援をしたのか、評価という観点から考えると、担任との話し合いをもつのは大変だと思う。
- ・「CSあいさつ運動」を2回実施した。初めての開催だったが、授業参観だけでなく朝の時間帯の子ども達の様子を確認することができ、大変よかった。
- ・生徒会本部役員との意見交換では、支援の必要性や方向性など生徒会の皆さんの思いを聞かせていただき、有意義だった。
- ・学校という場で先生方が何を思い、どんな方法を用いて教育活動をすすめているのか、授業を参観したり、体験的に学んだりして知ることができた。その上で、直接的な支援活動は何なのか地道に知恵を出し合うことができた。

＜評価項目 3＞ 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

- ・職員室前にＣＳ紹介コーナーが設置され、子供たちへのアピールにもなりありがたい。さらにＣＳを身近な存在にしていきたい。
- ・民児協定例会の折に、学校行事等の生徒の様子や「ＡＳＫ」活動について紹介し、地域でも協力してほしい旨を伝えた。
- ・ＨＰ、学校だより、ＣＳだより等で発信できているが、地域への情報発信という観点からは自治会の回覧物としてお願いした方が、一般家庭には効果があるのではないか。
- ・ＣＳだより等の発信により地域への周知ができていると思うが、ＳＮＳを含めて継続的な発信をすることによって、学校関係者や地域の人たちにもっと知ってもらうことが重要ではないか。

＜評価項目 4＞ 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標（取組の重点）

- ・あいさつ運動、学校評価、学校環境の向上など、取り組みやすく続けていける活動について、一歩踏み込んだ活動ができるよう熟議する。
- ・中学生と地域が一緒になってできる活動について熟議する。